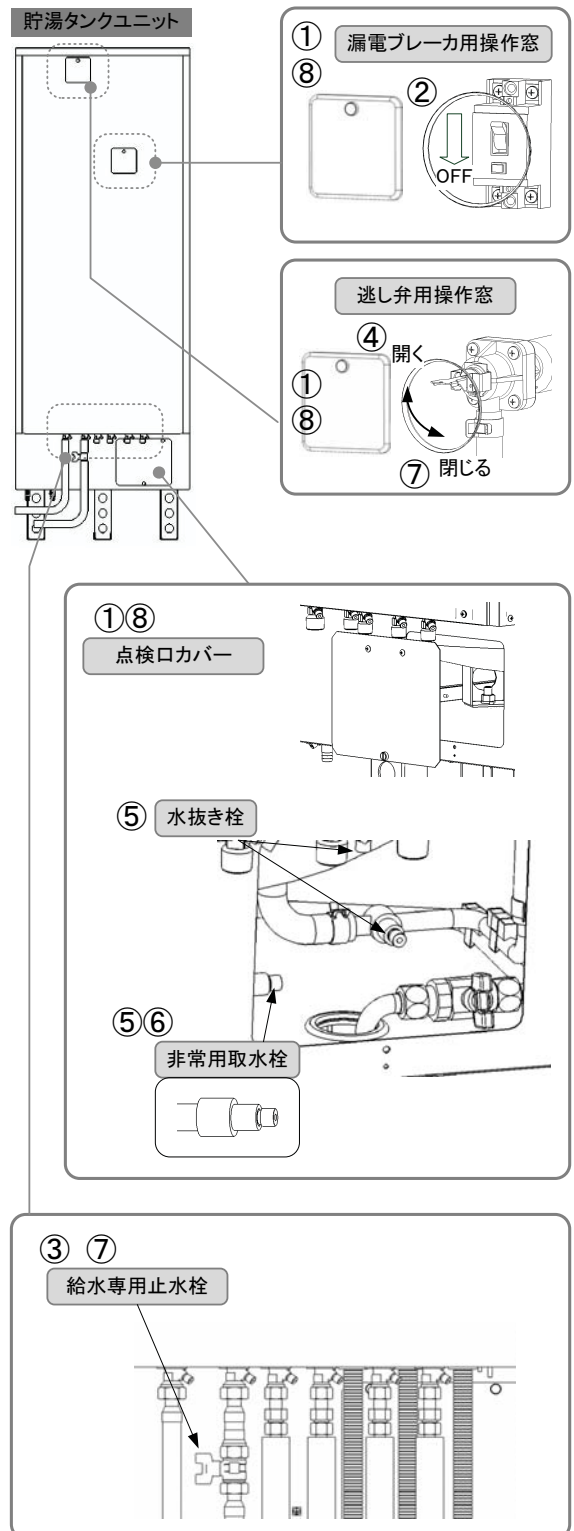


## 非常用取水栓の使い方

万が一の地震などの災害時は、貯湯タンクユニット内のお湯(水)を、生活用水として利用できます。

- ① 貯湯タンクユニットの漏電ブレーカ用操作窓、逃し弁用操作窓、点検口カバーを取り外します。
- ② 漏電ブレーカの電源レバーを「OFF」にします。
- ③ 給水専用止水栓を閉じます。
- ④ 逃し弁のレバーを上げます。
- ⑤ 点検口カバー内の水抜き栓にホースが差し込まれていますので、非常用取水栓に差し替えます。
- ⑥ 非常用取水栓を開き、容器に受けます。はじめの5リットル程度は雑用水としてご使用ください。
- ⑦ 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げます。
- ⑧ 操作窓(2か所)、点検口カバーを元どおり取り付けます。

準備するもの  
・容器(ポリタンク、バケツなど)



### ⚠ 警告

- 取水時は、お湯に手を触れない。
- 貯湯タンクユニットの内部配管および凍結防止ヒータには手を触れない。やけどのおそれがあります。
- 漏電ブレーカを操作するときは、濡れた手で行わない。感電のおそれがあります。

### ⚠ 注意

- そのまま飲用しない。長期間のご使用により、貯湯タンクユニット内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わる場合があります。飲用される場合は、一度沸騰させてください。

### お願い

- 再びお使いになるときは「はじめてご使用になるとき」(▶14ページ)の手順の準備作業を行なってください。

はじめに

準備

上手にお使いいただくために

給湯とシャワーの使い方

お風呂の使い方

その他の使い方

「エコキュート」の使い方

# 長府製作所 太陽熱利用エコキュートの場合 使用方法

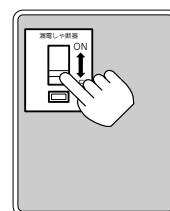
## 災害時などにお湯を取り出す

断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

### 警告

お湯が冷めてから取水してください。  
熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

**1** 操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、ふたを閉じ、貯湯ユニットの給水元栓を閉じる

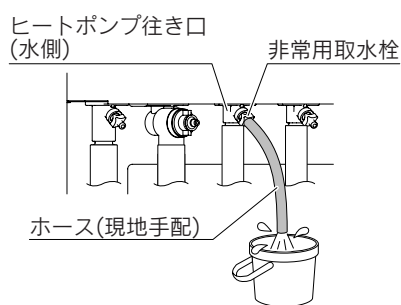
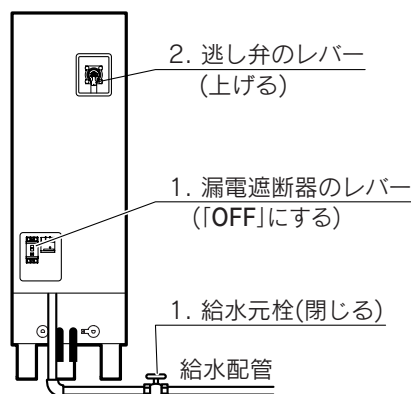


**2** 点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる

**3** ヒートポンプ行き口(水側)の非常用取水栓にホース(現地手配)を取り付ける

**4** ヒートポンプ行き口(水側)の非常用取水栓をゆるめる

非常用取水栓は3回以上回さないでください。  
非常用取水栓がはずれます。  
貯湯タンクのお湯(水)をバケツなどで受けて取り出します。  
出始めに湯あかやゴミが出ることがあります。



### 取水が終わったら、

非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げて点検口のふたを閉じてください。

### お知らせ

●再度使用する場合は販売店にご相談ください。

# 災害時などにお湯を取り出す方法

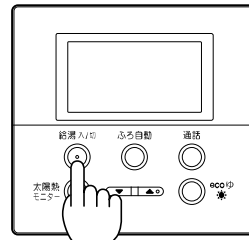
●断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

## 警告

取水中に熱湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。

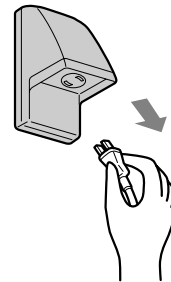
### 1 OM 補助暖房機器の運転を停止する

OM 補助暖房機器の取扱説明書に従って運転を停止してください。



### 2 給湯スイッチを「切」にする

### 3 電源プラグを抜く



### 4 配管カバーをはずす

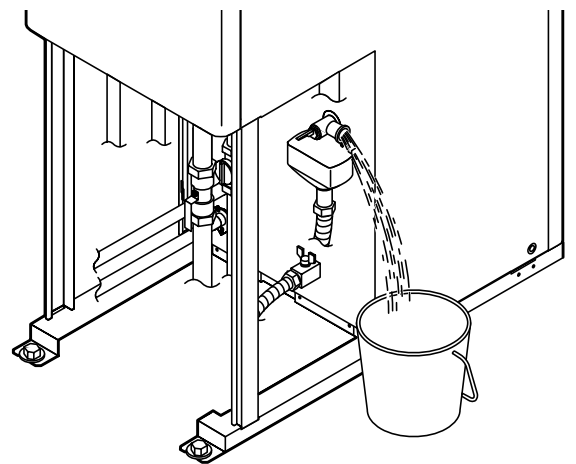
115ページ

### 5 給水元栓を閉じる

### 6 逃し弁の排水口を右に向ける

### 7 逃し弁のレバーを上げる

出てきたお湯(水)をバケツなどで受け、生活用水として使用してください。  
初めに湯アカなどが出る場合がありますので、少し捨ててから使用してください。



配管カバーをはずしたイラストです。

取水が終わったら逃し弁のレバーを下げてください。

## 再度使用するときは

●「冬期の凍結による破損防止について」の「貯湯ユニット内の水を抜く方法」の「再使用方法(貯湯ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。

103・104ページ

通電していない状態が24時間以上続いた場合は、現在時刻の設定を行ってください。  
その後は通常通りに使用できます。

19・20ページ